

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年7月3日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 給与の減額支給措置について
2. 第5回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇「風の又三郎」の開催
3. 「ハバード周期律表(1925年製)」を国立科学博物館特別展で展示
4. 最上義光没後400年を記念して 最上義光シンポジウム
5. 「なりたい自分」になる一歩 山形大学オープンキャンパス2012の開催

お 知 ら せ

1. キャンドルスケープ in 小白川キャンパス
2. ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～
親子で楽しむ動物学の開催
3. 科学フェスティバル in よねざわ2012の開催
4. 子ども自然体験学習『森の学校』の開催
5. 農学部夏期セミナーの開催
6. 農学部公開講座「身近な生物を探る 土・微生物・植物の世界」の開催

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年7月24日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成24年7月3日
山形大学

給与の減額支給措置について

本学では、本年7月分から平成26年3月分までの給与について、国家公務員に準じた給与減額支給措置を実施することといたしました。

国家公務員の給与減額支給措置については、東日本大震災の復興財源に充てるため、平均7.8%の減額率により、本年4月分から2年間ということで実施されておりますが、運営費交付金を措置されている国立大学法人に対しても、同様の措置をとるよう要請されておりました。

給与の減額支給措置は、教職員にとりまして生活に大きな打撃となるものであり、人材確保の観点からも非常に難しい問題であることから、本学の財政事情を勘案しつつ、職員組合との意見交換を進めるなど、慎重な対応を行ってきたところです。

しかし、5月11日の閣僚懇談会や財務大臣発言により、国立大学法人についても、国家公務員と同様の給与削減額を算定して運営費交付金を減額するとの方針が明らかにされ、このまま給与削減を実施せずに運営費交付金が削減された場合は、大学運営に重大な支障が生じることとなるため、本学においても給与減額措置に踏み切らざるを得ない状況と判断したところです。

このため、この7月分の給与から減額支給措置を実施することといたしました。減額率については国家公務員に準拠することとしましたが、実施期間は、既に支給した3ヶ月分を除き、法律に準じて平成26年3月までとしております。

なお、附属学校の教諭など、県との人事交流により処遇の均衡を図る必要のある職員や、附属病院の看護師や薬剤師等のコメディカル職員など、診療体制を維持するため人材を確保しなければならない職員については、適用を除外することといたしました。

問い合わせ：
総務部人事課 阿部
TEL 023-628-4020

役職員の給与減額支給措置の概要

常勤職員（役員及び基本給表適用者）

基本給月額額の減額支給

・役員		9.77%
・教員		
助教，助手，教務職員	（教育（一）2級以下）	4.77%
准教授，講師	（教育（一）3級～4級）	7.77%
教授	（教育（一）5級以上）	9.77%
・事務・技術職員		
一般職員，技術職員	（一般（一）2級以下）	4.77%
主任以上，技術専門職員以上	（一般（一）3級～6級）	7.77%
部長	（一般（一）7級以上）	9.77%
管理職手当額の減額支給		10%
地域手当，広域異動手当，特地勤務手当，超過勤務手当等の減額支給		
	減額後の基本給月額等により計算する。	
期末手当及び勤勉手当の減額支給		9.77%

非常勤職員（定時勤務職員で，かつ昭和56年以前に採用され，法人化後も引き続き雇用されている者に限る。）

日給額の減額支給		4.77%
超過勤務手当等の減額支給	減額後の日給等により計算する。	
期末手当及び勤勉手当の減額支給		9.77%

適用除外者：以下の者は減額支給を実施しない。

山形県との人事交流協定に基づき本学の職員となっており，附属学校及び大学院教育実践研究科に所属する者（臨時的採用の附属学校の教諭を含む。）

医学部及び医学部附属病院に所属している医療職基本給表の適用受ける者

実施期間：平成24年7月から平成26年3月まで

* 人事院勧告に基づく給与改定（平均 0.23%）については，平成24年4月に実施済。

平成24年7月3日
山形大学

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」

第5回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇「風の又三郎」開催のお知らせ

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」の事業として、9月16日（日）に、山形市のシベールアリーナにおいて第5回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇「風の又三郎」を催します。

朗読コンクールには予選を通過した東北六県の高中生（現在予選応募者募集中）約10名が出場し、青森県出身の作家太宰治の『津軽』のそれぞれ異なる部分を朗読します。

宮沢賢治の童話「風の又三郎」にもとづく群読劇（集団での朗読を主体とした劇形式）「風の又三郎」は、酒田市出身の演出家佐藤正文氏が演出を担当、紺野美沙子さん、益岡徹さん、北川麗さんの3名の俳優をお招きし、山形の一般市民と子どもたち、山形大学の学生およそ50名が一体となって舞台をつくります。

東北の未来を考えるために、東北に生まれ、東北に根ざした作品を発表した太宰治と宮沢賢治の作品を東北の人びとが中心となって東北の地で表現する催しです。

東北の人びとが未来に希望の灯を見いだすための一助となれればと願っています。

第5回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇「風の又三郎」

日時：平成24年9月16日（日）13時30分～17時ごろ

場所：シベールアリーナ（山形市蔵王松ヶ丘）

第一部：山形大学高校生朗読コンクール

第二部：群読劇「風の又三郎」

演出：佐藤正文氏（演出家、酒田市出身）

出演：紺野美沙子、益岡徹、北川麗

群読隊：山形の子どもたち・一般市民・山形大学生約50名

（お問い合わせ）

山形大学渉外部渉外課

（TEL）023-628-4016

山形大学特別プロジェクト

いま、言葉を
東北の灯に

群読劇

「風の又三郎」

言葉

【群読劇 出演者】



益岡 徹

紺野 美沙子

北川 麗

群読隊：山形の子どもたち・一般市民・山形大学生約50名

日時：平成24年9月16日(日)

13:00開場 13:30開演 (終演17:00ごろ)

会場：シベールアリーナ (山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番3号)

入場方法：一般市民200名を無料でご招待します。ただし入場券が必要です。

※入場券申込方法：往復ハガキに〈代表者氏名〉〈郵便番号・住所〉〈電話番号〉
〈入場希望者氏名(代表者含め3名まで)〉を記入しお申込みください。

※7月末に抽選で招待者を決定し、当選された方には入場券をお送りします。

申込締切：平成24年7月27日(金)必着

主催：国立大学法人 山形大学 共催：公益財団法人 弦地域文化支援財団

申込・お問合せ先：山形大学 渉外部渉外課

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL:023-628-4016

※電話によるお問合せは、平日9:00~17:00にお願いします。

※個人情報については、抽選結果連絡、入場券発送のみに利用いたします。

第五回 山形大学高校生朗読コンクール

山形大学特別プロジェクト
 「いま、言葉を東北の灯に」
 第5回高校生朗読コンクール／群読劇「風の又三郎」

【タイムスケジュール】

13:30 第一部 高校生朗読コンクール
 15:00ごろ 第二部 群読劇「風の又三郎」
 16:30ごろ 第三部 コンクール結果発表・表彰式

【第5回山形大学高校生朗読コンクール】

第5回を迎える今回から、東北出身の作家・東北を描いた作品を課題として取り上げます。東北を描いたすぐれた文学的文章にふれることで、東北の未来を考えていこうとする試みにほかなりません。

予選を通過した東北の高校生たちが、青森県出身の作家太宰治が太平洋戦争のさなか帰郷した経験をもとに、故郷に対する深く複雑な思いを独特の言い回しで綴った『津軽』をリレーで朗読します。

【群読劇「風の又三郎」】

岩手県出身の宮沢賢治の東北の大地に根ざした童話『風の又三郎』にもとづく群読劇(集団での朗読を主体にした舞台)を上演します。

演出は酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として紺野美沙子さん・益岡徹さん・北川麗さんを招き、山形の子もたち、一般市民の皆様、山形大学学生およそ50名とともに舞台をつくります。

あらすじ

—そのしんとした教室の中に、どこから来たのか、まるで顔も知らないおかしな髪の子供が一人、一番前の机にちゃんと座っていたのです。

田舎の小さな学校に、ある日突然やって来た男の子「風の又三郎」。おかしな格好をして、みんなとはちょっと違った様子の彼との出会いは、子供たちの心に新しい風を吹き込んだのでした。



現在、上演に向けて一所懸命練習しています。

【出演者プロフィール】

紺野美沙子(こんの・みさこ)

俳優・国連開発計画(UNDP)親善大使。1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。大河ドラマ「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」では三女・雪子役を好演。テレビ・映画・舞台と多岐にわたって活躍する。

1998年からUNDP親善大使としてアジア・アフリカの開発途上国を視察するなど、国際協力の分野でも活動し、視察の様子を記した「ラララ親善大使」(小学館刊)を出版。2010年秋より「紺野美沙子の朗読座」を主宰し、音楽や影絵、映像など様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスを定期的に続け、東北支援公演も積極的に行なっている。2012年7月舞台「日本の面影」(俳優座劇場)に出演。

益岡 徹(ますおか・とおる)

俳優・ナレーター。1956年生まれ。早稲田大学商学部卒業と同時に、仲代達矢氏主宰の無名塾に入塾。映画・舞台・TVドラマの幅広い分野でどんな役もこなせる貴重な存在の俳優として息の長い活躍を続けている。情感のあるナレーションにも定評があり、ドキュメンタリー番組やラジオドラマ、広告の作品で日本民間放送連盟賞などを受賞。映画「釣りバカ日誌」「聯合艦隊司令長官 山本五十六」「宇宙兄弟」「臨場」、テレビ大河ドラマ「飛ぶが如く」(NHK)、朝の連続テレビ小説「ウェルかめ」(NHK)、「京都地検の女」(テレビ朝日)。舞台「炎の人」(ホリプロ)、「負傷者16人」(新国立劇場)など出演作多数。世界わが心の旅(NHK)、「グレートジャーニー」(CX)等のナレーションを担当。

北川 麗(きたがわ・れい)

埼玉県出身。小学1年生から池袋朗読文化研究所に通う。埼玉県立芸術総合高校舞台芸術科を卒業後、日本大学芸術学部演劇学科演技コースに進学、2011年3月に卒業。大学入学後「ロロ」などの劇団に出演し、自主映画「おとふ」にヒロイン役として出演。現在は劇団「中野茂樹+フランケンズ」に所属。将来が期待される若手演劇人である。



【演出・出演】

佐藤 正文(さとう・まさふみ)

俳優・演技トレーナー。日本大学芸術学部演劇科非常勤講師(演技実習担当)。酒田市生まれ。酒田東高等学校、桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座を経て安部公房スタジオ創立に参加。のちフリー。1979年「仔象は死んだ」に出演、米国5都市を巡演。俳優座劇場プロデューズ、無名塾、地人会などの公演に多数出演。1996年コロンビア大学で開催された安部公房シンポジウムにおいて、演技術・安部公房システムを紹介。1997年シンポジウム・安部公房「演劇の仕事」及びワークショップ「安部システム」を旧メンバーとともに主催。私塾A.T.ラボ(1985年創立)を主宰。2004年ギイ・フォワシ演劇コンクールに於いて、演出した「ストレス解消センター行き」が最優秀賞を、2006年には「救急車」が優秀賞を受賞。スターダスト・プロモーション、avex等の芸能プロダクションで、演技レッスン担当、多数のスタータレントを育てる。名古屋など地方都市でのワークショップを精力的に行っている。

会場案内

会 場：シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番3号)

電話 番号：023-689-1166

Webサイト：<http://www.gen.or.jp/>

アクセス

お車の場合：山形自動車道～山形蔵王ICから国道13号線を米沢方面へ約30分

東北中央自動車道～山形上山ICから国道13号線を天童方面へ約3分

徒歩の場合：JR蔵王駅より徒歩20分

バスの場合：山交ビル角～表蔵王口(上山・高松葉山行き)20分



平成24年7月3日
山形大学

小白川図書館所蔵の「ハバード周期律表（1925年製）」が、
国立科学博物館特別展「元素のふしぎ」に展示されます。

国立科学博物館（東京・上野）で、この7月21日（土）から10月8日（月）まで、特別展「元素のふしぎ」が開催されます。この特別展は、元素の起源から現在知られている元素、その元素を利用した最先端技術から次世代技術まで元素にまつわる知識と技術を紹介するものです。

その特別展「元素のふしぎ」に、本学小白川図書館所蔵の「ハバード周期律表」を貸出すことになりました。この周期律表は、本学の前身である旧制山形高等学校（大正9.4-昭和25.3）において授業に使用された教育用掛図で、歴史ある貴重な資料です。

全ての物質を構成する基本の単位である「元素」、その元素それぞれの性質が似かよったもの同士が並ぶように決められた規則（周期律）によって配列したものを周期表（周期律表）といいます。この「ハバード周期律表」はアメリカのH.D.ハバードによる1925年製で、横11列・元素の数が96個だけのもので、現在の周期表（横18列、元素の数が118個）と比較すれば、その間の化学者達のたゆまぬ努力、研究の歴史をうかがい知ることができます。

このたびの特別展では、「元素の歴史、原子の構造と周期表」のゾーンに「約90年前の周期表」として展示されます。

（お問合せ先）
理学部教授：栗山恭直
電話：628-4586



■ 世界のすべては、元素でできている

国立科学博物館（東京・上野公園）では、2012年7月21日（土）から10月8日（月・祝）まで、特別展「元素のふしぎ」を開催します。

本展では、118種類の元素すべてについて紹介し、放射性元素など実物展示が難しいもの以外は、それぞれの元素の純粋な単体や、その元素からできている製品などを展示します。

「難しい、なじみがない」と思われがちな元素について、それぞれが持つ性質や用途に関する目からウロコが落ちるようなエピソードを織り込みながら、研究所や工場などに保管され、ふだん見ることができない素材や製品などもあわせて紹介することにより、わかりやすく解説します。

また、いろいろな気体に電気を通し、放電色を観察するコーナーや、いろいろな金属の色や音、重さなどを比べるコーナー、今話題のレアアース（希土類）が作り出す様々な色の灯りを紹介するコーナーなどのテーマ展示で知的好奇心を刺激します。さらに、自分の体がどんな元素からできているのか知ることができる“元素体重計”で、楽しみながら元素の仕組みを体感できるほか、私たちの未来につながる太陽電池や燃料電池などのクリーンな次世代エネルギーについても紹介します。

本展は、科学が好きなみなさんはもちろん、これまであまり興味のなかったみなさんにも、元素を切り口に、科学の面白さや奥深さを体感し学べる「科学の遊園地」のような展覧会です。

■ 開催概要

開催期間	2012年7月21日（土）～10月8日（月・祝）
開催時間	午前9時～午後5時（金曜日は午後8時まで） 8月11日（土）～8月19日（日）は午後6時まで ただし、8月17日（金）は午後8時まで 入館は各閉館時刻の30分前まで
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日） ただし、7月23日、7月30日、8月6日、8月13日、8月20日、8月27日、10月1日は開館
主催	国立科学博物館、TBS、朝日新聞社
特別協賛	東京エレクトロン
協賛	大日本印刷
後援	文部科学省、TBSラジオ
協力	JR東日本
公式ホームページ	http://www.tbs.co.jp/genso-ten/
お問い合わせ	ハローダイヤル 03-5777-8600
備考	今後の諸情勢により、上記の開催日・開館時間について変更する場合がありますので、HP等でご確認ください。

■ チケット情報

当日券（ ）は各20名以上の団体料金	
一般・大学生	1,300円（1,100円）
小・中・高校生	500円（400円）
金曜ペア得ナイト券	2,000円 会場・公式ホームページ限定販売 2名様同時入場／男女問わず／午後5時～8時 最終入場は午後7時30分 （当日券のみ）
水曜限定レディース券	1,000円 会場・公式ホームページ限定販売 1名様／女性限定／水曜日の開館時間内有効 （当日券のみ）
前売券	
一般・大学生	1,100円
小・中・高校生	400円





ZONE 2「元素の歴史、原子の構造と周期表」

物質を作っている基本要素として、古くは古代ギリシアの時代から「元素」という考え方が唱えられました。中世の錬金術の時代にさまざまな物質の実験がされ、間違った考え方も出されましたが、物質について豊富な経験と知識が蓄積され、近代的な元素の考え方が出されるのは、17世紀のイギリスのボイルや18世紀のフランスのラヴォアジエからです。そして元素の研究の集大成として19世紀後半から20世紀初頭にかけて周期表が確立されていきます。このゾーンでは、元素発見史における興味深いエピソードを、パネルや歴史的資料を展示してご紹介します。特に、約100年前に日本で新元素発見に近づいていたことに驚かれるでしょう。

また、元素の性質と原子の構造は密接な関係があります。20世紀の初頭、原子は中心に非常に小さな原子核があり、その周りを電子が回っていることがわかりました。しかも、電子が回る軌道はある決まったもので、電子がどのような軌道を回っているかで、その元素の性質が決まります。それが周期表の原理になるのです。ここでは、原子の構造の基本を解説するとともに、電子が回る軌道の3次元模型を展示します。実は、電子の回る軌道は、太陽の周りを回る惑星と同じような軌道ではなく、電子がどの位置にあるかを表す“確率”でしか表せません。展示する電子軌道模型は、電子がその位置にいる確率を点の密度で表しています。あたかも“雲”のようなので、これを“電子雲”と呼びます。さまざまな形の“電子雲”を見ることができます。この軌道が、元素の化学的性質を決めているのです。



約90年前の周期表
(写真提供：山形大学)



PERIODIC CHART OF THE ATOMS

Revised Edition Completed by Henry D. Hubbard

Orbitals ↓	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	Planetary electrons in the completed orbits Atom No. = 2(1 ² ·2 ² ·3 ² ·4 ²) ↓
1	H ¹ 1.008								2 End of the 1-orbit series
2	Li ³ 6.940	Be ⁴ 9.02	B ⁵ 10.82	C ⁶ 12.000	N ⁷ 14.008	O ⁸ 16.000	F ⁹ 19.00	Ne ¹⁰ 20.2	2+8 End of the 2-orbit series
3	Na ¹¹ 22.997	Mg ¹² 24.32	Al ¹³ 26.97	Si ¹⁴ 28.06	P ¹⁵ 31.027	S ¹⁶ 32.064	Cl ¹⁷ 35.457	Ar ¹⁸ 39.91	2+8+8 End of the 3-orbit series
4	K ¹⁹ 39.096	Ca ²⁰ 40.07	Sc ²¹ 45.10	Ti ²² 48.1	V ²³ 50.96	Cr ²⁴ 52.01	Mn ²⁵ 54.93	Fe ²⁶ 55.84	2+8+8+18 Final Quota in 4-orbit series
5	Rb ³⁷ 85.44	Sr ³⁸ 87.63	Y ³⁹ 88.9	Zr ⁴⁰ 91	Cb ⁴¹ 93.1	Mo ⁴² 96.0	Ma ⁴³ 96.?	Ru ⁴⁴ 101.7	2+8+8+18+18 End of the 5-orbit series
6	Cs ⁵⁵ 132.81	Ba ⁵⁶ 137.37	Rare Earths	In ⁴⁹ 114.8	Sb ⁵¹ 121.77	Te ⁵² 127.5	I ⁵³ 126.932	Xe ⁵⁴ 130.2	2+8+8+18+18+18 End of the 6-orbit series
7	Au ⁷⁹ 197.2	Hg ⁸⁰ 200.6	Rare Earths	Pb ⁸² 207.20	Bi ⁸³ 209.00	Pa ⁹¹ 232.15	Re ⁷⁵ 187.?	Os ⁷⁶ 190.8	2+8+8+18+18+18+18 End of the 7-orbit series

79 Rare Earths	La ⁵⁷ 138.90	Ce ⁵⁸ 140.25	Pr ⁵⁹ 140.92	Nd ⁶⁰ 144.27	Sm ⁶² 150.43	Eu ⁶³ 152.0
64 Rare Earths	Tb ⁶⁵ 159.2	Dy ⁶⁶ 162.52	Ho ⁶⁷ 163.4	Er ⁶⁸ 167.7	Yb ⁷⁰ 173.6	Lu ⁷¹ 175.0

Published by
W. M. Welch Manufacturing Company
1516 Oldland Street, Chicago, Illinois, U. S. A.

平成24年7月3日
山形大学

最上義光シンポジウム開催

～最上義光没後400年を記念して～

最上義光(1546-1614)は、初代山形藩主で、山形県の基礎を築いた偉人です。2013年は没後400年にあたり、それに向けて、最上義光の業績の見直しがなされています。本シンポジウムでは、義光の最新の研究成果を提示します。

開催日時：2012年7月21日(土) 13:00～15:00

会場：山形大学小白川キャンパス 人文学部205教室

参加料：無料

対象：一般市民

講師：

上山市立図書館前館長 片桐 繁雄 氏

演題「山形城下町の成立再考」

山形大学都市・地域学研究所所長 松尾 剛次 教授

演題「最上義光再考 - 新発見の文書を使いつつ」

山形大学都市・地域学研究所所員 菊地 仁 教授

演題「伝説上の最上義光」

コメンテーター：

山形大学人文学部 岩田 浩太郎 教授

問い合わせ：

山形大学都市・地域学研究所所

人文学部 松尾剛次研究室

TEL・FAX 023-628-4917

又は 人文学部事務室

TEL 023-628-4203

2012年度山形大学都市・地域学研究所プロジェクト

最上義光シンポジウム

～最上義光没後400年を記念して～

最上義光は、初代山形藩主で、山形県の基礎を築いた偉人です。2013年は没後400年にあたり、それに向けて、最上義光の業績の見直しがなされています。本シンポジウムでは、義光の最新の研究成果を提示します。

開催日時：2012年7月21日(土) 13:00～15:00

開催場所：山形大学人文学部 205 教室

参加無料

講師

上山市立図書館館長 片桐 繁雄 氏
山形大学都市・地域学研究所所長 松尾 剛次 教授
山形大学都市・地域学研究所所員 菊地 仁 教授

コメンテーター

山形大学人文学部 岩田 浩太郎 教授

2013年は没後400年!



最上義光像

問い合わせ先

山形市小白川町 1-4-12
山形大学人文学部松尾研究室
TEL・FAX 023-628-4917
又は山形大学人文学部総務課
TEL 023-628-4203

主催：山形大学都市・地域学研究所

平成24年 7月 3日
山形大学

「なりたい自分」になる一歩 山形大学オープンキャンパス2012

山形大学を志望している受験生や、高校1・2年生、高校教員、保護者等の皆様を対象に「山形大学オープンキャンパス2012」を開催します。

山形大学のことをより詳しく知っていただくため、各学部（学科）概要説明や、模擬講義、体験授業、相談コーナー等を行います。
来場者には、山形大学オリジナルグッズを差し上げます。

開催日：

小白川キャンパス（人文学部、地域教育文化学部、理学部）	：平成24年7月28日（土）
飯田キャンパス（医学部）	：平成24年7月28日（土）
米沢キャンパス（工学部）	：平成24年8月3日（金）
鶴岡キャンパス（農学部）	：平成24年8月3日（金）

各キャンパス“最寄り駅”（山形駅、米沢駅、鶴岡駅）から無料シャトルバスを運行。
現在、山形大学ホームページ及び携帯サイトにおいて、参加申し込み受付中。
（原則として予約制ですが、当日の参加も大歓迎。）

小白川キャンパス(7/28開催)に自家用車で来られる場合は、構内に駐車スペースがありませんので「山形県庁駐車場」をご利用下さい。山形県庁から小白川キャンパスまでは無料シャトルバスを運行します。

プログラム：

- ・各学部（学科）概要説明
- ・施設、研究室見学
- ・模擬講義、体験授業
- ・なんでも相談コーナー
- ・在学生相談コーナー
- ・各種資料配付 等

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

（お問い合わせ）
エンrollment・マネジメント部政策課（EM担当）
（TEL）023-628-4063



「なりたい自分」になる一歩

YAMAGATA UNIV. OPEN CAMPUS '12

[山形大学オープンキャンパス 2012]

7月28日(土)

人文学部-小白川キャンパス(山形市内)

9:30~16:00(受付は9:00から)

地域教育文化学部-小白川キャンパス(山形市内)

9:30~16:30(受付は9:00から)

理学部-小白川キャンパス(山形市内)

9:30~16:00(受付は9:00から)

工学部・農学部の相談ブースも設置します。9:30~16:30

医学部-飯田キャンパス(山形市内)

医学科 10:00~12:30(受付は9:30から)

医学科は体験授業(一日医学生)も開講します。13:30~15:40

看護学科 14:00~16:30(受付は13:20から)

※看護学科棟の施設見学・演習体験は13:00から参加可能です。

8月3日(金)

工学部-米沢キャンパス(米沢市内)

9:30~16:30(受付は9:00から)

農学部-鶴岡キャンパス(鶴岡市内)

10:40~16:00(受付は9:30から)

◎各キャンパス“最寄の駅”から無料シャトルバスを運行いたしますのでご利用ください。(小白川キャンパス-山形駅、飯田キャンパス-山形駅、米沢キャンパス-米沢駅、鶴岡キャンパス-鶴岡駅)
◎小白川キャンパス(7/28開催)に自家用車でこられる場合は、構内に駐車スペースがありませんので「山形県庁駐車場」をご利用ください。山形県庁から小白川キャンパスまでは無料シャトルバスを運行いたします。
◎小白川・飯田の両キャンパス(7/28開催)にお越しの方は、山形駅乗り継ぎで無料シャトルバスをご利用ください。

詳しくは山形大学ホームページをご覧ください。 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

事前申込が必要です。山形大学ホームページか携帯サイトから申込ください。(原則として予約制ですが、当日の参加も歓迎します。)

携帯サイトからの申込はコチラ➔



プレス通知資料（概要）

平成24年7月3日
山形大学

1. キャンドルスケープ in 小白川キャンパス

（概要）「100万人のキャンドルナイト」は、みんなで一斉に電気を消して、ろうそくをとともそうという全国的な節電イベントです。

本学会場でも、昨年・一昨年に引き続き、小白川キャンパス周辺振興会が中心となり、「キャンドルスケープ in 小白川キャンパス」として開催します。

キャンドルホルダーは、第五、第八小学校の児童の皆さんの協力により作成されたものです。

日時：7月7日（土）18：30～キャンドル点灯

18：40～山形大学学生によるスローライフコンサート

会場：山形大学小白川キャンパス正門（ロータリー周辺）

問い合わせ先

山形大学小白川キャンパス事務部

総務課長 石井 滋

TEL 023-628-4112 FAX 023-628-4125

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

2. ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～親子で楽しむ動物学の開催

（概要）イモリの産卵、プラナリアの行動、モンシロチョウの羽化を題材として、電子顕微鏡やレーザー顕微鏡も使用しながらミクロの世界の観察と実験を親子で楽しみながら行います。

日時：8月5日（日） 10：00～16：30

会場：山形大学小白川キャンパス

対象：小学校5・6年生 及び保護者

参加費：無料

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

3. 科学フェスティバル in よねざわ2012の開催

（概要）次の世代を担う地域の子供たちに、科学の不思議や魅力に触れてもらい、おもしろさを感じてもらうために「科学フェスティバル」を昨年に引き続き開催します。

様々な科学を体感できるスペースをご用意し、「みる」「きく」「あじわう」「さわる」「におう」など、5つの感覚をたくさん使って科学の世界を体感してもらいます。

日時：7月28日（土）、7月29日（日） 10：00～16：00

会場：山形大学工学部4号館教室

対象者：小学生・中学生

受講料：無 料

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

4. 子ども自然体験学習「森の学校」の開催

（概要）農学部附属やまがたフィールド科学センター演習林において、四季折々の森における体験学習を通じて、自然の豊かさ、美しさ、楽しさ、厳しさなど多様な自然の姿を理解してもらい、森の花、実、虫、きのこ、鳥、動物、木の葉や冬芽を観察・収集して名前を識別する森への招待プログラムや知雪・親雪体験を実施し、地域の代表的な自然環境である森林に興味をもってもらう。

時 期： 7月21日・10月6日・3月2日の計3回（土曜日）

対 象： 小学校3年～6年生

実施場所： 農学部附属やまがたフィールド科学センター演習林
（農学部前、朝日庁舎前からバス送迎）

受講料： 各回500円（保険料、教材等）

募集人数： 30人（先着）

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

5. 農学部夏期セミナーの開催

（概要）農学部では、高校生向けの夏期セミナーを開講します。

セミナーでは、食料系コース、生命系コース、環境系コースのどれか1つを選択していただき、講義、実験及び野外実習を通して、それぞれの分野に関する先端の研究を、皆さんに直接体験していただきます。

日 時： 8月2日（木） 8：30～16：30

会 場： 山形大学農学部

対 象： 高校生

受講料： 無料

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

6. 農学部公開講座「身近な生物を探る 土・微生物・植物の世界」の開催

（概要）本講座では、農学部食料生命環境学科植物機能開発学コースにある6つの専門分野が、それぞれ「ダダチャマメ」、「有機栽培」、「コムギ」、「ベニバナ」、「切り花」、「カブと焼き畑」、「菌根菌」、「キノコ」、「土」、「微生物」など身近な生物や作物、またはそれらに関する事項をテーマとして挙げ、最新情報を含めて紹介します。

日 時： 7月14日（土）、21日（土）、28日（土）

会 場： 山形大学農学部

定 員： 25名（先着順）

受講料： 2,000円

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕



キャンドルスケープ in やまがた

2012年7月7日(土)
夜7時から9時まで

ろうそくをともして
スローな夜を

ゆっくり流れる時間の中で
見つかるものがあるかもしれない
いつもと違う何かに出会える、そんな場所

「キャンドルスケープ in 山形」には、NPO 法人環境ネットやまがた、山形市、山形県村山総合支庁、山形工業高等学校、東北芸術工科大学チーム ECO、山形大学、村山地域地球温暖化対策協議会、七日町商店街青年会、山形まなび館、山形まるごと紅の蔵、霞城公園前商店会、小白川キャンパス周辺振興会ほか、それぞれの会場でさまざまな支援団体等が参加しています。



やまがた社会貢献基金
Yamagata Social Contribution Fund

デザイン協力 東北芸術工科大学チーム ECO
このチラシは、やまがた社会貢献基金事業の助成を受けて作成しています。

●「キャンドルスケープ in やまがた」

「100万人のキャンドルナイト」は、みんなでいっせいに電気を消してロウソクをともしようという全国的な節電イベントです。「キャンドルスケープ in やまがた」では、キャンドルナイトを山形市民に呼びかけ、まちにロウソクをともしイベントを行っています。

ロウソクのあかりを楽しみながら、ただ2時間電気を消すことで、みんなの環境への思いをつなげてみませんか。

100万人のキャンドルナイト公式ホームページ <http://www.candle-night.org/jp/>

●地球温暖化（ちきゅうおんだんか）ってなあに？

わたしたちは、電気やガス、石油など、エネルギーをいつもつかっていますね。でも、エネルギーをつかうと、二酸化炭素（にさんかたんそ）が出ます。二酸化炭素がふえすぎると、地球の温度があがって、異常気象が多くなったり、災害がふえたりします。地球温暖化をくいとめるために、

「人のいないへやの電気はけす」、「テレビをみていないときはけす」、「エアコンの設定温度を上げる」など、省エネにチャレンジしてみませんか。

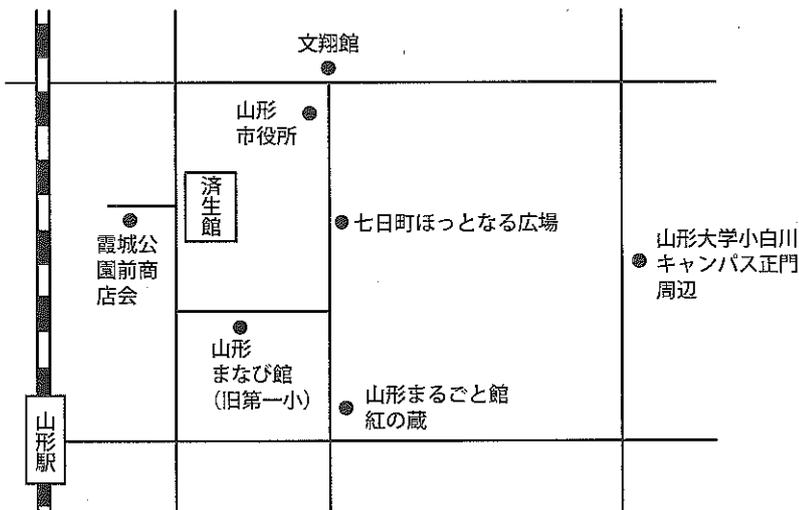
ロウソクからも少しは二酸化炭素がでるけれど、明るい電気よりはずっと地球にやさしいよ。

●山形市内のイベント会場

山形市の広場や通りがたくさんのでキャンドルでキレイにいろどられ、会場ごとに楽しいイベントがあります。

- ・とき 7月7日（土）
- ・じかん 会場によって異なりますので、以下をご覧ください。

雨天時の対応は会場によって異なります。



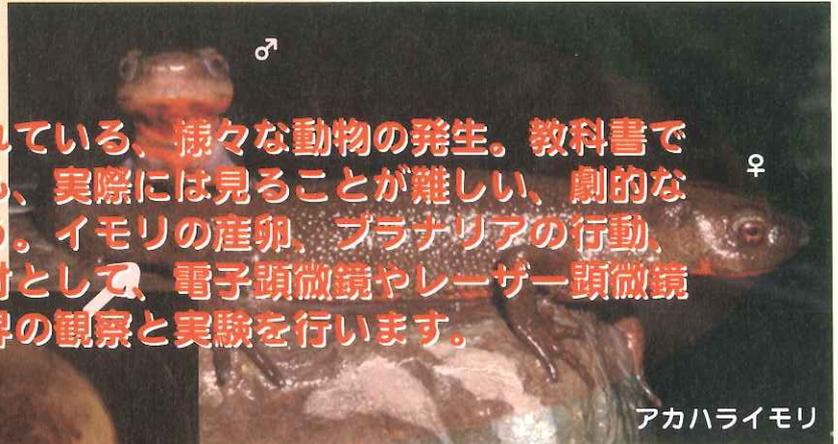
山形市役所前広場 (山形市環境課、山形工業高校、環境ネットやまがた)	時間 17:00~20:30 17:00~ 当日参加者によるキャンドルホルダー作成コーナー 18:30~ キャンドル点灯 (キャンドルホルダー作成協力…第一小・第七小児童) 19:00~ ミニコンサート (山形大学マンドリンクラブ、山形工業高等学校吹奏楽部)
文翔館 (東北芸術工科大学チームECO)	時間 18:30~21:00 18:30~ キャンドル点灯 (キャンドルホルダー作成協力…第四小・滝山小児童) 広場にならぶ2000本のキャンドルにみんなであかりをともしましょう!
七日町商店街周辺施設	◇七日町ほっとなる広場 (主催: 七日町商店街青年会) 時間 11:00~21:00 11:00~ 手作りマルシェ「クラフトナイトVOL.2」 18:00~ キャンドルナイト 18:00~、19:00~ アコースティックコンサート (ギター弾き語りなど) ◇山形まるごと館 紅の蔵 (主催: 山形まるごと館 紅の蔵、協力: 欧風花インスティテュート 山形県支部) 時間 11:00~20:00 11:00~ 「紅花でオリジナルのコサージュをつくろう!」 紅花の生花を使ったオリジナルコサージュづくり体験 (無料、15:00まで) 紅花販売 18:30~ キャンドルナイト 18:30~ 山形県産「ラ・フランス飲む酢 (フルーツビネガー)」の振る舞い (なくなり次第終了) ◇山形まなび館 時間 10:00~20:00 10:30~ 「ECO竹箸づくり講座」 (12:30まで) 12:30~ 流しそうめん (13:30まで、※雨天時中止) 17:00~ 「キャンドルとガラスのプレゼント」 (※先着50名) 18:30~ キャンドル点灯
栄町大通り、本丸通り (霞城公園前商店会)	時間 18:00~20:00 18:00~ 栄町通り・本丸通り (市立病院済生館西側) 周辺の商店会によるキャンドルの点灯
山形大学小白川キャンパス正門周辺 (山大小白川キャンパス周辺振興会)	時間 18:00~20:00 18:30~ キャンドル点灯 (キャンドルホルダー作成協力…第五小・第八小児童) 18:40~ 山形大学音楽系サークルによる「スローライフコンサート」

親子で楽しむ動物学

のぞ
 一覗いてみよう、身近でつづく動物のいとなみー

後援：山形市教育委員会
 日本動物学会東北支部

身近な環境で毎年繰り返されている、様々な動物の発生。教科書で勉強して知ることはできても、実際には見ることが難しい、劇的な場面の観察に挑戦しましょう。イモリの産卵、プラナリアの行動、モンシロチョウの羽化を題材として、電子顕微鏡やレーザー顕微鏡も使用しながらミクロの世界の観察と実験を行います。



8月5日 (日)
 10:00~16:30
 山形大学小白川キャンパス
 小学5・6年生対象
 参加無料

観察するもの

- ・イモリの産卵の観察と卵の電子顕微鏡観察
 - ・プラナリアの行動観察と筋肉のレーザー顕微鏡観察
 - ・モンシロチョウの羽化の観察
- (修了すると未来博士の学位が授与されます。)

詳細は、<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/> へ

参加は保護者同伴でお願いします。
 定員は20組です。7/23までにお申し込みください。(応募多数のときは抽選になります。)
 お問い合わせ、お申し込みは・・・
 山形大学理学部:
 tel:023-628-4505

小・中・高生のための
 プログラム



KAKENHI

モンシロチョウのさなぎ

モンシロチョウのりん粉
 (電子顕微鏡写真)

工学部

科学フェスティバル in よねざわ 2012

期 日	平成24年 7月28日(土) ~ 7月29日(日)	受講対象	小学生・中学生
	10:00~16:00(受付9:30~)	募集人数	制限なし(事前申込不要)
場 所	山形大学工学部4号館教室(米沢市)	受講料	無 料

【内 容】

次の世代を担う地域の子供たちに、科学の不思議や魅力に触れてもらい、おもしろさを感じてもらうために「科学フェスティバル」を昨年に引き続き開催します。

科学は教室で習うことだけではありません。自分で外に出て「不思議を見つけ出し、なぜだろうと考えて、実際にためしてみること」が「科学」です。科学フェスティバルでは、様々な科学を体感できるスペースをご用意し、「みる」「きく」「あじわう」「さわる」「におう」など、5つの感覚をたくさん使って科学の世界を体感してもらいます。

ご家族の皆様と一緒に楽しみください！

(昨年の様子)

ピカピカ光る有機ELの世界



マイナス200度の液体で何でも凍らせてみよう



シャボン玉をさわって、中に入ろう！



次世代RDセンターのロボットたち



昨年度の様子や実施内容については、下記 URL よりご覧いただけます。

<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/ScienceFestival/index.html>

問い合わせ先	担当係名	科学フェスティバル実行委員会総務担当(山形大学工学部内)
	住 所・	山形県米沢市城南四丁目3-16
	電話番号	0238-26-3002・3005

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター
演習林開放事業 子ども自然体験学習『森の学校』

- 時 期 : 7月21日・10月6日・3月2日の計3回(土曜日)
- 対 象 : 小学校3年～6年生
- 内 容 : 四季折々の森における体験学習を通じて、自然の豊かさ、美しさ、楽しさ、厳しさなど多様な自然の姿を理解してもらい、森の花、実、虫、きのこ、鳥、動物、木の葉や冬芽を観察・収集して名前を識別する森への招待プログラムや知雪・親雪体験を実施し、地域の代表的な自然環境である森林に興味をもってもらおう。
- 実施場所 : 当センター演習林(農学部前、朝日庁舎前からバス送迎)
- 実施内容 : ・森の体験(炭ぼっくり作り、ピザ作り、川遊び、ミニレクチャー)
・自然工作(コースター作り、リース作り)
・森の知恵比べ(枝葉・冬芽等のサンプルによる名前当てクイズ)
・知雪・親雪体験(積雪観察、カンジキ歩行、かまくら設営、そり滑り、スノーモービル乗車)
- 受講料 : 各回500円(保険料、教材等)
- 募集人数 : 30人(先着)
- 申込み先 山形大学農学部 附属施設担当 TEL 0235-24-2278



コースター作り



ピザ作り



川遊び



炭ぼっくり作り



窯だし



樹木の手入れ



木の実工作



積雪量調べ



雪の滑り台

夏期セミナー 受講者の募集

山形大学農学部では、高校生向けの夏期セミナーを開催します！

セミナーでは、「[食料系コース](#)」・「[生命系コース](#)」・「[環境系コース](#)」のどれか1つを選択していただき、講義や実験などを通して、それぞれの分野に関する先端の研究を、皆さんに直接体験していただきます。

生物や化学などに興味を持っている皆さんの参加をお待ちしています!!

- *開講日 2012年8月2日(木) 8:30~16:30
- *募集人員 食料系、生命系コース各20人、環境系コース15人(先着順)
- *受講料 無料
- *会場 山形大学農学部
- *コース 以下のいずれかのコースを選択してください。

1 食料系コース

9:00~12:00

・肉のうまさの違いとは

堀口 健一 安全農産物生産学コース教授

13:00~16:00

・日本の農業の将来をちょっと考えてみよう!

小沢 亙 食農環境マネジメント学コース教授

藤科 智海 食農環境マネジメント学コース准教授

2 生命系コース

9:00~12:00

・アカウキクサとドジョウを用いた有機稲栽培の観察

程 為国 植物機能開発学コース准教授

13:00~16:00

・食品の褐変反応を観察してみよう! -食品を加熱した時の色と香り-

永井 毅 食品・応用生命科学コース教授

3 環境系コース

9:00~12:00

・森を測って温暖化を考える

小山 浩正 森林科学コース教授

13:00~16:00

・農地を作るはじめての一步 -測量機器に触れてみよう-

花山 奨 水土環境科学コース助教

お申し込み先

山形大学農学部学務担当

〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23

TEL 0235-28-2808 FAX 0235-28-2814

E-mail nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込〆切

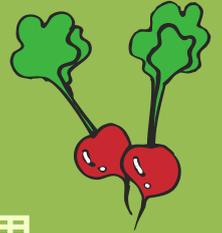
7/18

翌日8月3日(金)は、山形大学農学部オープンキャンパスを同キャンパスを会場にして開催いたします。

平成 24 年度山形大学



農学部公開講座



身近な生物を探る—土・微生物・植物の世界—

平成 24 年 7 月 14 日(土)、21 日(土)、28 日(土)

7 月 14 日(土) 13:30 ~ 16:50

13:30 ~ ガイダンス

14:00 ~ 14:50 俵谷圭太郎 「植物と共生する菌根菌のはたらき」

15:00 ~ 15:50 阿部利徳 「ダダチャマメの有機栽培と成分」

16:00 ~ 16:50 江頭宏昌 「カブと焼畑」



7 月 21 日(土) 13:30 ~ 16:20

13:30 ~ 14:20 村山秀樹 「切り花における老化の進行と花持ちの向上」

14:30 ~ 15:20 貫名 学 「キノコの作る抗酸化物質—エルゴチオネイン」

15:30 ~ 16:20 程 為国 「庄内地域の土地利用変化と地球温暖化」

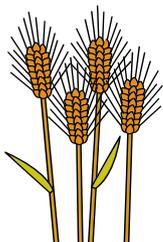


7 月 28 日(土) 13:30 ~ 16:20

13:30 ~ 14:20 村山哲也 「庄内の植物由来の生理活性物質」

14:30 ~ 15:20 笹沼恒男 「コムギとベニバナの進化と多様性」

15:30 ~ 16:20 服部 聡 「未知・未利用・難培養微生物の探索研究」



定員
受講料
申込方法

申込期間
問合せ先

25 名(先着順)
2,000 円
申込用紙(払込取扱票)により、受講料を納付してください。
申込用紙は下記の間合せ先にご請求ください。
平成 24 年 6 月 4 日(月) ~ 7 月 6 日(金)
山形大学農学部 企画広報室 梶沼
TEL: 0235-28-2803 FAX: 0235-28-2812
E-mail: noukich-s@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

